

カナダ日本語教育振興会 2017 年度年次大会
CAJLE Annual Conference 2017
Conférence annuelle CAJLE 2017

広がる日本語－日本語教育と社会とのつながり
Diversifying Japanese:
Connections between Language Education and Society

於：University of Calgary - Calgary, Alberta
2017 年 8 月 16・17 日
August 16 & 17, 2017

－ 協力 / **Conference Supporters / Support du colloque** －

Consulate-General of Japan in Calgary
The Japan Foundation
Faculty of Arts, Language Research Centre, School of Languages, Linguistics, Literatures and Cultures,
University of Calgary
Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Researches, University of Alberta
The Canadian Association of Second Language Teachers
Alberta Japanese Business Association
H.I.S. Canada. INC
Nippon Express Canada
Top Career/Fourth Valley Concierge Corporation

－ 書籍販売 / **Book Fair / Salon du livre** －
Nihongo Circle

【基調講演】

規範主義を超えた日本語教育の構築へ：多様性とそのポリティクスを考える
久保田竜子先生（ブリティッシュコロンビア大学）

【教師研修I】

Strategies for Japanese Teachers to Support Language Variations within Their Classrooms
日本語教師のための教室内の言語の多様性をサポートするストラテジー
Ms. Janice Aubry (Canadian Association of Second Language Teachers)
ジャニス・オーブリー先生（カナダ第二言語教師会）

【教師研修II】

媒介語の使用を対照の楽しみに繋げる
田中香織先生（国際交流基金トロント日本文化センター）

【教師研修III】

多様性を織りこむ日本語指導：実践と課題
久保田竜子先生（ブリティッシュコロンビア大学）

【口頭発表】

1. The same project but different language learning in collaborative digital storytelling projects:
Activity theory perspective
Hiromi Nishioka (Macquarie University)
2. 初年次学生向け授業における「やさしい日本語」の協同学習効果
阿部貴人（専修大学），阿部美恵子（関西学院大学）
3. 内容重視言語コースにおける言語教師とコンテンツ教師の協働について
根本菜穂子（マウントホリヨーク大学）
4. 年少者教育における日本語の漢字指導 —中華学校小学3年次に対する実践報告—
引田梨菜（専修大学）
5. 非漢字圏日本語学習者の漢字認知のメカニズム
大和祐子（大阪大学），玉岡賀津雄（名古屋大学）
6. Learning outcomes of internet-based reading comprehension activities in the JFL classroom
Abigail McMeekin (University of Lethbridge)
7. 現象描写文における「のだ」に関する考察
大橋幸博（ヌエボレオン州立大学外国語学習センター）
8. Not saying exactly what it is is sometimes good enough: the unspecified use of demonstrative are in Japanese everyday talk
Saori Daiju (University of Alberta)
9. Differences in students' error correction between native and non-native Japanese teachers
Takako Aikawa (Massachusetts Institute of Technology)
10. 「多文化交流型授業」の授業設計とアセスメントのための基礎的研究
永岡悦子（流通経済大学），鄭惠先（北海道大学）
11. 「めやす」の教育理念の実現を目指した現地体験型研修旅行の実践
—留学生が感じ、学んだ「広島」—
森川結花（甲南大学）
12. 日本企業に就職を希望する留学生に求められる能力—学生時代の経験を学びと成長に変える—
梅田千砂子（立命館アジア太平洋大学）
13. 「異」と「文化」をめぐるアクティブ・ナレッジの形成 —文化的差異の政治性の観点から—
杉原由美（慶應義塾大学），オーリ リチャ（千葉大学）
14. 「参加型授業」に対する抵抗感はどこから来るのか
—学習観の多様性に向き合うための事例研究—
宇佐美洋（東京大学），柳田直美（一橋大学）
15. Developing digital learning materials for a diverse student population in a beginning Japanese language course
Nina Langton (University of British Columbia, Okanagan)

16. 日本語独習者の3タイプ
村上吉文 (国際交流基金、アルバータ州教育省)
17. 人生をエンカレッジする継承語としての日本語
-日本語コミュニケーションプログラムに参加した日系人の事例から-
佐藤貴仁 (慶應義塾大学), 渡瀬容子 (日系シニアズヘルスケア住宅協会)
18. “Fuzzy” boundaries between the two kinds of Japanese adjectives
Kanza Tariq (University of Alberta)
19. The role of morphology in Japanese clipping
Adam Daniel (University of Calgary)
20. 気持ちの表現はどこまで多様か: フィクションにおける<避けられない状況>の質的分析
安部さやか (ミドルベリー大学)
21. 日本語学習者による無動詞文の使用について
下條光明 (バッファロー大学)
22. Exposure to wa and ga in L2 Japanese pedagogy: Comparison between learner input and L1 usage
Hironori Nishi (University of Memphis)
23. 初級日本語学習者による助詞の習得 —助詞の学習法の影響—
加山裕子 (マニトバ大学)
24. Analysis of concessive expressions in oral opinion statements by native speakers and English-speaking learners of Japanese
Chiemi Hanzawa (Yokohama National University), Yukiko Hatasa (Hiroshima University), Katsuhiko Ito (Tokyo University of Foreign Studies)
25. 日本語の感情音声に現れるパラ言語的情報からみた日韓対照比較 —多変量解析法を用いて—
丁美貞 (首都大学東京)
26. 中級前の学習者への creative writing 導入の試み
水戸淳子 (香港大学)
27. On the interface of grammatical errors and pragmatic failures in L2 Japanese
Kiyono Fujinaga (University at Buffalo, SUNY)
28. 持続可能な開発目標 (SDGs) を扱ったスピーチ活動指導の分析
尹智鉉 (早稲田大学)
29. 「ボイスサンプル」を応用した日本語音声指導の研究
王伸子, 大塚明子 (専修大学)
30. 多様な学習背景を持つ学習者をつなぐ教室活動
—日本語独習者へのライフストーリー・インタビューからの考察—
池田朋子 (マギル大学)
31. 副詞「せいぜい」の指導: 誤用例から学ぶ共起構文明示の必要性
藤原美保 (ウィラメット大学)

32. ノートをとおして分析する日本語学習者による講義の談話の理解
渡辺文生（山形大学）
33. 日本語学習者の口頭発表データに見られる文末表現の問題
—調査結果・考察・結論の示し方に注目して—
八木真生（東京国際大学）， 大津友美（東京外国語大学）
34. 母語・非母語話者の括りを越えた日本語の学びの可能性
—日加大学間での「日本語の学びを通して社会とつながるプロジェクト」の実践から—
脊尾泰子（マギル大学）， 天野みどり（大妻女子大学）
35. 社会とつながるための日本語教育—演劇づくりの実践とルーブリック評価の検証から
松永典子（九州大学）
36. 半自律性を目指して：中級レベルでのミニ研究プロジェクトの試み
佐藤純子（ノースウェスタン大学）
37. 教室の外へ—学習ポートフォリオによる学習項目の意識付け—
善積祐希子（レスブリッジ大学）， 倉沢郁子（関西外国語大学）
38. 日本語学習動機がない学習者の学習動機づけの変化に関する研究
横田隆志（北陸大学）
39. How teachers can assist learners to acquire skills required in the 21st century in elementary Japanese courses:
pedagogical implications based on an experience
Aoi Saito (Yale University)
40. 「母語話者信仰」はどのように現れているのか
—日本国内の非母語話者実習生・教師に関する論考のレビューを通して—
孫雪嬌（早稲田大学）
41. 言語学習とスポーツ分野のストラタジーの類似性についての—考察
—認知的ストラタジー理解と習得の一助の可能性—
浅岡信義（国際基督教大学）
42. Linkage between literary education and society: a topical excursus of “Boshizo”
Shudan Lin (Wenzao Ursuline University of Languages)

【ポスター発表】

1. The Relationship between Self-Efficacy and Homework Completion in the Japanese Classrooms
Yukie Aida (The University of Texas at Austin)
2. ジェンダーアイデンティティの多様性から考える日本語教育
有森丈太郎（トロント大学）
3. 言語のクラスにおけるレポート形成—授業の談話分析に基づいて
印道緑（北九州市立大学）

4. プレイスメントテストオンライン化実施に向けて
石川比奈子, 児玉陽子, シャープ昭子 (カルガリー大学)
5. 日本語学習者の独学と教室学習に関する調査
クラスナイいづみ (サスカチュワン大学)
6. 日本語学習者と日本語母語話者の促音生成の比較
中神裕美子 (専修大学)
7. 留学を通して新しい自己を作る
中山亜紀子 (佐賀大学)
8. 日本語コロケーション学習支援システムの開発研究
施列庭 (開南大学)
9. クロスキャンパス 附属高校とのつながりによる留学生のまなび
竹井光子 (広島修道大学)
10. 「複言語サポーターに必要な能力」の捉え方の違い：
複言語サポーター・日本人コーワーカーの語りから
徳井厚子 (信州大学)
11. 多様性を意識した日本語と話者に対する理解が目指すもの—World Japaneses の議論をもとに—
米本和弘 (東京医科歯科大学), 柴田智子 (プリンストン大学), 津田麻美 (コロンビア大学), 林寿子 (カールトン大学)
12. How do you teach Studio Ghibli's feature films to foreign students learning about Japanese culture?
Miyuki Yonemura (Senshu University)